

特別法中以正法律案(政 | 安藤正統

委員長の報告通り

可決さる

兵力量

一や論議

社

R

と 6億りに合理的なり面 以ていかものでは 対し

すると到つて支那の革命建設 のである。 とか課期で約1世なられる所決政策を さか課期で約1世なられる所以さなど

勞働二法案 愈よ衆議院提出

|東京二十一日教電通||政府は二十一日衆国院に教諭組合歴家及教諭が講演体共成正法報を提出した右順法案は二十四日の衆議院本會議に上程されるはずである 京の各新聞の當日の

月細い践つて降け」と無政の小りは、まながある。

大学 
 大学

村 (1 に入り受験意具を選ぶべく 大野民 一、名は利事補償法であり機家時 であるがその實 が伴つてゐない、須く國家賠償 が伴つてゐない、須く國家賠償 が伴った場合國家はその冒新聞に 表思が主演音してやるやうにせよ った意思が主張を重なった場合國家はその冒新聞に まるから東震諸君の考慮を望む るから東震諸君の考慮を望む るから東震諸君の考慮を望む と述べて軽速すれば続いて誘流に

警官の暴行事件で

無産派議員の猛襲 西尾、片山、淺原三氏が議長難詰 変 派議員の 猛襲

山岡氏、國務と斷じて詰寄る

貴族院豫算總會(廿一日)

廿四日本會議に上程

農家の負債總額

四十億乃至五十億位

西國新內閣危機

日和南郷一般及血精濃縮方法に関する。
「日和南郷一般及血精濃縮方法に関する。」
「日本の名談二ケ年間は未各員へ

民政黨少壯派

强硬に反對

勞働組合、調停兩法案

任神綱縣書記官(四)補學務部長大分縣書記官 臼田 一大分縣書記官 臼田 一

井・なの

『きのふ農林省より發表』 「他位

アハ行ン末 カナッチ

コオ

ラニ兄

モダマ「シカリ末

12 9

25

ラチャイン

o クウ 首ケヲワイ

毛

アサデイリタン タコマ オヅウ

ル クノ末ナイ 子イノ

チノイ

ナザオシタヤンロョ

のぞき込むやうにもて調れるのでないこと

もうスケートは楽年までサヨナラです『富真は水のさけかけた館はすつかりなくなつて池の水はさどなみをたてはどめるでせう。 はすつかりなくなつて池の水はさどなみをたてはどめるでせう。 はすつかりなくなつて池の水はさどなみをたてはどめるでせう。 れてったが水でグッショリねれてぬました。 あさ一週間もたつたら水が下が水でがったりでは、靴のメンドが水でがったりでは、水が大かたザク/~になってさこれで、昨日鑑ケ池に行って見るさ氷が大かたザク/~になってさこれである。

支那人の老人

随つてるたよ

いがラスで出来てあるわけではないがラスで出来てあるわけではな

オハナシ

「龍子を厚くしたのではすぐお湯を厚くしないの?」

うして割れないやうにガラス

美代ちやんは恐るくく包をあけ 「場が非常に薄いガラスで出來て

大郎ハ コノ四ガツ ヤマゲサン ハ キョネンマ ニ カイシャ ヲ ヤラレ テ キマシタ・「オマヘ ガ ガツコウイルンダカラ オ父サン

タ。 ガツコウ ニ イク日 ヲ マ 大郎ハ オ兄サン ノ オフルス・ 大郎ハ オ兄サン ノ オフル

ヨル オ父サン ハ ニ

ニタマゴ +

サク ナツタ ー コレガ キョ コレガ キョ

ワンテンシュ

jine.

りさけてしまびまし

イシモリ・ノ

てしないさ、このまへ

東た野世場を引取らやうに受け取 美代ちやんはお父さんの買って

魔法壜の不思議

美代ちやんの質問

中の空気をすつかりわき取ってあ

ころが緊急感はガラスが二重にな

できめるといふのはその熱が何か 縁がないから、いつまでも熱がそうと、 一できるとでいるのはその熱が何か ながないから、いつまでも熱が能へる空できるがないたりするの つて其の中の空気がねいであるか

スケ



できた。 大きないの歌によってはれていると表がいてあるから割れていましてしまふのだ」なってしまふのだしないできなの歌によってはれていまして真の時に大きな音を立るからませていまりのではいいであるから割れた。 かうさしてもこの戯によってはれて、 変遣して其の時に大きな音を立るからませている。 まって撃眩暈についての不思いがした。 大きな音を立るです。 かずくつがだいぶわかって寒ましてかりわかりました。 八半一路の理くつがだいぶわかって寒ましてのな思いが、美代ちやんに取ってはもう

E

キマシタ

ト オモヒマシ

コニコシテ カヘツテ キ 「ドウデシタノ」「オ交サン パンザイ」 大郎ハ 大キナコヱ ヲシタ。

デシタ。 ド オモヒマ ド ヨピッ ト ヨピッ

なの安く着くよ

**今**春流行

0

最新柄

点

だがまは必ずしも支那ばかりの話とではない。日本に於ても特殊の治とではない。日本に於ても特殊の治とを当ずるがと縁にふる人も決してをよずるがと縁にふる人も決してをよがのではない、殊に婦人に於て甚らのではない、殊に婦人に於て甚らのではない。 国境死を待つのみ器

明切る場合と否と

マクニン線ではいる

薬物療法の久昭の



社會名合置玉 元養養 町等戶業業本日京東 電名な「小松ちの乗り などをしてゐる特に

冬の眞晝

謠

千曲葭

生

ではるべきを注さず、手を拱いて を確るべきを注さず、手を拱い 危険千萬な話 である。更に一時の抗みを止める
した。 とのでなく、連月によって動物。
とのでなく、連月によって動物。
とない、変異などの、変異などの、変異などの、変異などの、変異などの、変異などの、変異などの、変異などの、変異などのではなどのでなどのでは、変異などのではなどのではなどのではなどのでは、変異などの この薬は一般特殊機と違って特殊という。 更に一時の航みを止める

なとした健康美

療

代数して山野に氾濫するに鉄。 附はなかなか止まず途には境。 はなななかなかよまず途には境。

病併發の恐怖器

本のために無代で配子である。 著のために無代で配子である。 を表表して名な小松さの無名ない。 を表表して名ないながら数はれたか…本値に告白した貴重な態数はれた。 を表表した数はながら数はれる。 著者は有名な小松ちの手の数 のために無代で配子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。 を表表した数はなが子である。

の友

一酒の賜。

只食前一杯の蜂ブ

ム悦の生活力





御用命の程御願申上ます 陸續入 建築事務所 電話五四〇九章



治療の時期に。。。

早春の

衛

理科西蘭傷

翠

歐米における

學校

女教員が

丘傾的運動に参加

最近やうやく

辭職願に接して

ロンのエグルフイング病院に難くからミンヘンに同ひオパーパエイ

ンプルグに直行した、ハンブルグ の六月でシベリヤ総轄由ドイフハ

で、その後ペルリン

もよい位である、その外教制療法

治療を行ってゐるさいふ荷様で歌科・農者干名中値が十名世名位が敷料

作 製焼送を行ってるる成は

天た出致したのは一昨年

公 主

嶺警察の慰勞

宴

洞

**父兄、學校當局狼狽** の男子希望者に毎日観道を指撃した大和小學校では一昨年頃より兄童が

運賃低減運動

年前の列車で連場に起かした

## 日本代表選手 十八日夜間線へて針號した 東川谷地産選択の寛陽調査の

多事さなつた 多事さなつた 多事さなつた

對抗圍碁試合

原

補機社員俱樂部園森部の主催で一

から同仏楽部日本間に於て

る二十日午後四時学頃市場上門橋通る二十日午後四時学頃市場上門橋通る二十日午後四時学頃市場上門橋通る一十日年後四時学頃市場上門橋通

である。 に邦人は協力一致も打開業に努め に邦人は協力一致も打開業に努め

ばならわさいはれてある

斷然....

まねきの珍趣向

白色パルチザン

支那軍に降服

忠臣藏十二段返し料理 忠臣藏十二段返し料理

春季圍碁大會

東の今り二十一日来開

森司令官巡視

本代表水得選手として耐州の時 た事に貯職の短くであるが実徒軍の無路に流徹さられた安東の庄 暑の手厚い難識、診臓に使り能大の無路に流徹さられた安東の庄 暑の手厚い難識、診臓に使り能大の無路に流れてある 後援會から激勵電報 前田署長出奉

**予**族院職就にして日本銀行監査役 一般にからいたが歴史は 一般にかいたが歴史は 一般にかいたが歴史は 一般にかいたが歴史は 一般にかいたが歴史は

なかれ享年八十四歳

常識講座開く

●な物能し二十一、二限日の意味の顔を聞き選手一目の意味の気を聞き選手一目の意味れたるスケーターありさ知ら 要素に就て能能している。要素に就て能能を続けつゝる。 不景氣に祟られ 電話ガタ落 一時の十分一に惨落 Щ

た恰好で整調所が今にも続山にき るる者もあるが、一般に終止を喰っ な気がきで不限のため様で終して 電話相場も昨今は約瓶流し るい上騰ぶりをみせてるた戦山の、 しせいつ 教育動語の振識に次で卒業職書及十名豪州し君が代の合唱に始まり 地方事務所社會係では二十三日から二十七日送帰日午後一時代から三時代活潘健社駐集部に然て家庭研究所を封壁こする一般輸入の家で、

失火ご中

つる

配発力を認む處があつた の変更に続て組織せられてある を成て十九日午前職部監修級 を成て十九日午前職部監修級 では安東市民 が変更に続て組織せられてある

が、発電販売の政治施金融にかかる混在を を 「大変に脱々の機能を要素した経験 なるので、無人企識を実験した経緯 で、無人企識を実験した経緯 で、無人企識を実験した経緯 で、無人企識を実験した経緯 歌さなった

部の数ない。 一歩し温かなかったので、政府さ 一歩し温かなかったので、政府さ 一歩し温かなかったので、政府さ にも政友會で同じ共職があらう、

る、政治家さして未成品である。 をのかとしていならう様似のである。 をのかとしていならう様似のである。 をのかとしていならう様似のである。 をのかとしていならう様似に達する。 をのかといならう様似にあってるため。 をのかといならう様似にあってる。 でかった。 をいかないった。 が聞いかな論言かった。 が問いかな論言がある。 をいる。 をい。 をいる。 を、 を、 を、

を味めるのみにして、まさして ないののでは、 だんか

さが最も示妙なる戦績なるに、断するも成に下手である、事態を歌しまり、

**の**観ぎった。 が大きているとは、 ・ 一をにいるとは、 ・ 一をにいるが、 ・ 一をいるが、 ・ 一をいるが、

こって間に触らの濡れ手で軽し、質がれてみたいさの反動機能が手腕に

勞農農民續々

國境に避難

7

勞農側逃亡を取締る

ないが、一種子金を多みるものが手をして一般の成金さまでは行か

低に急所座さなった人間は、でさ

急角度の不景氣に心爛れた

、馬券

殿殿城小學校に於ては來る三月二

兒童學藝會

インターシチーの哈市昨今

がは一致経験の脱機を張りて政友に というの 説に政府され、はては一た 文宮殿下御東南直治文と がその結果に依るさ 

商埠地

でつて二流のレストランに人内の

四銭のメクシーで一般の株式を無

石炭商

告出 張 所

堂

書き

が、大場構の出張度を登り、大場構の出張を

競争 が繋であるだけに

| でボイツに引歩して更にオラン これを行って居るやうであった。ア、スイズ等の標準網院を観察し 賞覧してゐる、珠にドイツは盛に際在しその酸イタリ、オーストリ | て患者の療法としては作業療法を 精神病療法 池内博士の視察談 二十二日撃天鴻巖道場に続て除儲 さる人全浦新設者武道大會に続山 より左記の六名小學校の縣本三数 に別率され出場するさ 本者松(市)藤田(部)古村(製)田 中央、蔣田(部)古村(製)田 か、卒業生態代さして檜垣武君の 在一般を懸信さして松山爽夫君の送 を一般を懸信さして松山爽夫君の送 正十二時松り即念裾終をなして版 物料・父児様代さして物蔵帳氏の をか 父児様代さして物蔵帳氏の て患者の感法さしては作業療法を 柔道大會出場 體に於て二千名とか三千 出來るパブリック、まス 車をひかせ又は臨賦、 等の擦除をなさもの液 洗漉工場があつて深事 なさしめ、実献してお 建陽郵便局に於ける △観近のニュースを ぬる病院になるさー を押し込めてゐるの 郵便局の 故にる無思 過速吸吐長 月中の成職 を 者に流徹人が除途ふて手で流はせ 本立、靴の緊急又は修動、格子の 機樹 受付する国に社場所の新加を熱空 ・等(令職時間)から十等淡質品を ・等(令職時間)から十等淡質品を さいふのがあるがこれは世界後回 さいふのがあるがこれは世界後回 から患棒様連続者の数無が法であ 一次はそれだけの機能が必要である

藝酌 賦理 婦の 雜種割

鯨島主事歸京

でも萬策を霧で継頭が 神社の火 てゐるさ ● とり食証に繋じ廿三日隣り運転を より食証に繋じ廿三日隣り運転を しまり食証に繋じ廿三日隣り運転を からない。

各地料理店組合から

**呼免除を請願** ▲田中縣長は鞍山中學校卒業式30 「別の為め二十日鞍山往復 別の為め二十日鞍山往復

た 東洋映画協會の「人肉の桑港」映画 整で公園される

在運輸車務所長 十九日 連輪課長 関上 連輪課長 関上 連輪課長 関上

食道樂

九六番

大法は『全意風で十二本の中々』 が信りごんなお土産物が信りますかが が信りごんなお土産物が信りますかが 版 頃 名 古 遠 町

りますかが最も興味有意識でするの職一本を引いて頂くさ何段目

大国さいふ財態であるから者とい 大国さいふ財態であるから者とい 場合は同社は経ざ繁製不能の扱態 に図るであらう 华國事務所庶務長 十

新機軸

関発 が 順全 旅 店服臭やすびる

に他動され降伏、アラエリト部隊都下を率めてるたが程底長のため

の主

十餘名は阿阿羅山を根據にしてる は既死亡さして登見されたさ思龍 は既死亡さして登見されたさ思龍

十餘名を歐市合部に招待し総続の十餘名を歐市合部に招待し総続の 姜團長の招宴

山口口 口 簡

特許野間式ストー

のるが是等は治療が目的で

の費用なき時は全都国家の費用で は標準網であるさの香師の難明 がわれば入院せもめその身元を調 があれば入院せもめその身元を調 があれば入院せもめその身元を調

国 能力あるものが速感する際には批かって信性性が関連されて以来この性では、かりフォルーニー、 一手腕を行ふのである、カリフォルーニー、 一大照を行ふのである、カリフォルーニー、 一大照を行ふのである、カリフォルーニー、 一大原本で、 が子三千人百七十五名、 が子三千人百七十五名、 が子三千人百七十五名、 が子三千人 はよい解けですよ」と動苦笑して いまい はまい 解けですよ」と するのは ないない カーで つんぱ時代に 賴母子講現狀 うのに

の標準網者数層のため政府の提出無料で数層してゐるのであるがそ

これほどまでに構練解者を

間、英國は七千八百萬國アメリカ す金はドイラは一年に四千五百萬

本門 | 「「「「「「「「「」」」」」 | 4 である | である で落れするものあり雷扇さしてもその液及するこころが多いので繋がしてある。そのうち田で酸原が変してある。そのうち田で酸原がありの手にはすこさになつたが、等の共同質 で激化するものあり監局さしてもなが、最近は無理なる低率の概 **谷種の糖母子識である。現在ハル** 関掛けの職谷被絞五十種あり、一ピンには四千関を最高に一ケ月十

お目出度に さくらもち いの

町のニュース

桃の節句が近づ きました

支本

大菱評判のよい 外山洋行特製(化粧用) トヤマ石(破) 年打函人 金・年打函人 金・ づ **经** 经 前 食

る機能コンクリートの整線で除下 一の製架場たる第一酸場に形大な 屋で観光のも那可能 像側

は雑貨店、飲食店、降り場が、野屋であり

劇場の惨事

踏潰され粉碎されて

現場は酸鼻の極

六百名の諸

豪參加

勢力ある共産系團體

主

舊正警戒⇒終て

警官の慰勞 成吉思汗鍋に歡談

選したる警報である

商議設立の前提 質業協會を設置 規約その他立案中

サ出火蔵に徹止めたが凝然五面線 ・地類高唱・地震楽地四一王某の庭前 ・地類高唱・地震楽地四一王某の庭前 高粱を焼く 所勝記念線→配大人

りに……」▲西郷有 大事で表に表出物が を観を持つ大事である。 でである。 ででする。 でできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででででででできる。 ででででででででででででででででででででででででででででででで

話



濟生醫院

鄉洲總代理店 滿洲雙實元 大 原 票 局 日本實際除式會社 新古書電社の三五新古書電話三人和報子上本の一書ではよや電六六〇一書である上、大谷南店

本学、「大連牛乳株式會社 電料 食事を具共月廿七個の割 を語四五三七番 電話四五三七番

何でも御用命下さい 何でも御用命下さい 美麗町五七鷹路二八六六 完前實法遠議通 (解於開始)一日一圓 安信會

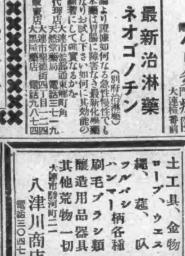


柴田博陽









商店

「郷子は蝦場に除るさ直に受話機 を外したのだ。 受話機のわざ 

「なんて、やけに燃じい話じやなたのは歌子だった。

スの外で委組を聞いてぬ

「こいつは不可れる。飲ちやん降

ても伝統古太郎、

糕解

苦太郎の後に行つたの 十庭廣少貧四三國電二一〇九十庭廣少貧四三國電一〇九十年

クサ

大連劇場隣根本薬局電七八六二

電話八二〇三番

家傳お灸

一〇一番地

(東) 唐木 細工製造収管並修繕 電式への四五 版本辰二郎 電大の四五 版本辰二郎 電工五五五七

心は、つまらん喧嘩になって 郷子の

mil

市内但馬町二〇市内但馬町二〇 金庫間宮式 算盤の御用命は

天帆ニ級純生流が使紙は 邦文 中書 應

一回り大勉強は

站七五八九番 經止まり 洋服類薔裳 新後屋簡店

店支七又林川

が 大連市美濃町二五電六六八へ 大連市美濃町二五電六六八へ 大連市美濃町二五電六六八へ 神祠。墨丸。關節。痔疾。ロイマチ、線人病内膜。喇叭管。卵巣疾。 胃。腸。神經痛。脚氣。其他 健康は國家関降の基本なり 大連市預速町五丁目二百一番 大連市預速町五丁目二百一番

藝精

特田順天堂 電三二〇九番 特田順天堂 電三二〇九番

モミ・煉治御望みの方は

**持木丈太郎** 電話四六九二番

葉は ヒシカワ薬局

ある。産験で編得の 大連市二栗町一〇四 大連市二栗町一〇四

は柳来堂下さいは柳来堂下さいは柳来堂下さい 大チク 第二二〇六六 元章ぐなかします シン 舌成製版所 走部三六九一份 大連部後町四十四年

婦人 妈二

大小り、大水野・電話四六九二番電話四六九二番電話四六九二番

全融 日掛け恩給電ニニニ九七 大黒町二 中マトタクシー 商 石九に 本記載 電話スマーキータクシー 商 石九に 変が電貨情保ありを 変が電貨情保ありを 著 音器

軟梅青冰病 病

以前間行「五十行 特別で「五十行

景

湍

日案内

数事は道樂か ・大連、真正冷県生 ・大連、真正冷県生

いいものだらうか。

「あのチーラやんさ云ふのは一性がり当村道太郎は、「味の一味をすった

て既ってるなざ、粉生の面目にか

俺が弱いたんだ。もう好いくし

女中

**建州大連常陸町山本四 新** 中耳类 不畅 關知

り、どうだ一杯印つかけたらどう一様は又後の事にしやう。それよ

三拾錢塩

太

る。右城市の窓響天銀事館より城 がち、石城市の窓響天銀事館が事い は基を現金で渡す事は効果が事い から低等か浜管の意義わる仕事の から低等か浜管の意義わる仕事の

◆今日のドイツの徹奥振り飲き歌

二旅館表彰

表験版の概果を行った。

第二遺外艦隊 10令官津田縣技术

t 「君は知ってぬるのか」 「君は知ってぬるのか」 た知らないで女総砕郷が出來るもなか、 電引ながら、チーちやん ないたのは撮影より

藤原保祐氏次男 口嘉三氏三女

は新年集合

では独立一連門

・ 門職旅融・法主任と の製造にて溶練出場の ・ 中間七時出現 

の中では大力にある。

はあたもに借すおつもり?」 見なのも手の一つだ。「で、ざれ 見なのも手の一つだ。「で、ざれ 「そいつは知らなかった。それは

還村進大、今日はよつほど運の「金か?君の方で言つて見絵へ」

ポンカン

常陸町 流邊商天電六八四一番

**塵紙** | 物中に家庭向徳用の生魂 ・ 教養元 | 拓茂洋行紙店

大文 案 経緯用 日降町 さかいや電子 1 日降町 さかいや電子 1 日降町 さかいや電子

古着河南南

つて市ふ嶽泉縣長さ いつは手ごわいぞ 

宛答

多くお出し程盤る準が多くなります 平尾養平商店懸 

廿

實懸いし晴素•くしさやく白面

各新聞にて に左記賞品を贈 の上決定。

いた裏の白地に左の順序にお雲レートクレームを入れてある函 1何々2何々3

の店の所ご名 (他の形版にてもど)

特切に遅れ口やうな幸運の實の山へ

上記の関形を番を一字づ、埋め の名が完全になれば合 を一字で、埋め を一字で、埋め

枚の答案

鎭咳祛痰劑

肺結核、氣管核炎、肺炎、感冒、百日咳並に其他呼 吸器病に因する咳嗽咳痰ある塩合盛に質用せらる。 蓋し效果佳良、服用容易、副作用絕無にして常に安 心して用ひ得る特徴あるに據る。

> 包 图 粉末 50元人 100元人 使剂 100亿人 波剤 100姓人 ポンポン 50個人 共他

西年

ュ ラ



飲み易い肝油

さわやかな香り――心地よき酸味 兒童は喜んて服用す

約10倍量の水叉は温湯で 5寸め甘味を附して用ふ 包 盤 250瓦入 500瓦入の二種 詳細說明書選易

xx·夠 三共株式會社

光土光田江 5 / 泊 歲別 登時繁榮 中 1 歲別 本計支器件 商業件 店店店店行店店行會會 元

位本側樣客御對絕

ツシア 蓄音器新型 れを博せる 提供の

横匵稚幼場廣西 **番五二三四話電**  DMC刺繍糸 各国料線及アミモノ本

糸 店 岡

が漢字 - PIVAL

門專科内 **和多方局但了四阳虚泥击逐攻** 院醫富安 を能り、正のの世

櫻井內科醫院



・「何如は由理きづま理



落にもならぬ<br />
西の五の言は 味な苦勞と洒 無駄もなし

りなぬら足が素の味



一般なお用すべきか見音の提びする近もなく是非さも質行じたか十九名から市長姫熊殿及び 事は遺憾に構べない。遺に研究が十九名から市長姫熊殿及び 事は遺憾に構べない。遺に研究 事は遺憾に構べない。遺に研究 事は遺憾に構べない。遺に研究 事は遺憾に構べない。遺に研究 事は遺憾に構べない。遺に研究 事は遺憾に構べない。遺に研究 事は遺憾に構べない。

事けてゐる、 動

とこが緊縮の

高寺(本)議員 本問版は重大な問題であるから結論に至らぬれる がら結論に至らぬれる がら間がにが変し、この問題であるから相共に研究と で方が便利さ思ふ、市で研究と

商工學校

0

改組立消か

目さる

每三七六六号~ (网络透泡町透浪達大

大連」の全人

分

け山の故送

第子部州大長山州近の**半**は御来完

を変にて助近龍上の酸量に従事する智であるさ を変にて助近龍上の酸量に従事す

和合い外に販賞と 中製給出来に販賞と で

文書偽造で

告訴さる

安田善次郎氏 通】新川西村

貌子窩近海測量

那個の作った深間に使ってるて同一

**豫算なのか** 

一般質問を打切つた

大連市豫算市會(第三日)

なりはしないか

処子窩で射殺の

賊は金明双

州境切つての馬賊頭目

のこれのうちった謎のが見け機能、後手の影に続大を浴びせ、紅井分間のたったがなり同談とを選せて、下に洗剤がよったがなり同談とを表して、一見をないがなり同談とを表して、一見をない。これがなり同談とを表して、

下に沈暦に事に處理と

## 警備從事殉職者 昭和五年八月五日から適用し 遺族に對して給與

て児東人士の絶職吸精を受け

口

妻來ら

來朝中

の世界的名舞踊家

名派斯家サカロフ氏夫妻は、日 場の明星の処き光輝を放ってる 場の明星の処き光輝を放ってる

週用すば昭和五年八月五日

一、二等本(同級兵卒)

100

商品抵當に夕

相場資金の融

融通を受く

この黑幕に捜査の手を伸ばす

民政署時

勝買組合の不正事件

氷上に抱腹絶倒の亂舞

が表示では、 が使いてもらが健分を強い である事質のり、これが である事質のり、これが である事質のり、これが である事質が代在して

よせ鍋 一人前

金五十錢

り和洋 電話三三八五番 い和洋 電話三三八五番

通速

壽司

式一

名

ゆふべ

の謝肉祭

で興味を持たれて居るさころへ六 を教育神衆場の原園を埋め済州最 に教育神衆場の原園を埋め済州最 ケーチングで刺激は樹腹糖酸し乗

渾水泡警官派出所襲擊事件詳報

哀れ愛し二兒傷く

言備美談

に立ち軍働に戦略する二見を後に 発出低以下十三名の財役隊の短順 となるは安東書から来機した國政司

賑やかな氷上昨夜の謝肉祭

融資家には概能行力な

を嗅ぎ出し

主事を脅迫

金融機関人員の場合は若被人員の場合は若被人員の場合は若被

嚴確勉持

を配合して本邦製菓工場に於て製造せ セメン又はセメン間はこのサントニン

徳川時代より實用の理想的興除難で

(御申込次第說明書進呈)

流、刑事課活動を開始

金は全部密線が支援かってるる事質を飛事器はが聞き込み、内傷の結果、付は某業職はが聞き込み、内傷の結果、付は某業職はが聞き込み、内傷の結果、付は某業職はが聞き込み、内傷の結果、 て、組合際

參考資料聽取

でられたためれる二十三日出戦の は今岐川崎江東々称所に続所を除 は今岐川崎江東々称所に続所を除

日曜の催物

熟的人氣

名に黙ら任意出頭の称式で出点を選比政署より騰賀會關係の器は二世紀政署より騰賀會關係の器は二世紀代表

語源資料運集に努めてゐる関東作に関し、檢察局の指揮によつ

万カクマ

■前無料層温 東京品川驛前 熔線域接師 東京宗鳥眞學校 片線道接師 「東京場」

ン醬油發賣元 

文學部、簡學部二進ムペ

n そく治療

及び庶務事業局 三五六三 六三四八 日 仙庵堂

十一日より本社内電話番號を左の如

せ 洲

生産合理化による新製品さらてきるのよい、20の特長を御試験の上ごうぞう カクマン 痛 に立ちました味のよい、一樽 三圓三十錢

唯一の虫下しとして サントニン製剤程律効あるものはあり 文連日華自動車學校 强 5 はに庭家 辛

大連市北大山通十四番地車軍大連市山城町二番地校會大連市山城町二番地校會大連市山城町二番地校會大連市山城町二番地校會大連市山城町二番地校會

が、病室 切符赞蕾 大連市伊勢町角 電555年+4773隻

葬儀莊嚴に

和會解に然一意樂、優れた舞踊の公流に悪まれては、意樂、優れた舞踊の公流に悪まれ

な跡然を現て悪へら

渍 酒

8

本各地名産 0 此ッカ 子が花びぜに 合詰品珍

東京風菓子謹製 各 が、地域に 00 九九一

浦

も、なるべく断しのにしれえでな

から、大して信用は出来れえが、一番樂だでな。お前ツちのこさだツ子なそそのかすにアあの年頃が

てもんでもれえでもだら、……女さう然に手に入れたさツてごうツをう然に手に入れたさツてごうツ

木膽

弴雄 (49)

かく一塊脆いでやってみませう。

あさは四人で鑑力して、うまく をかませり子ピリくすの出して、 をかませり子ピリくすの出して、 をかませり子ピリくすの出して、 をかませり子ピリくすの出して、 をかまさは無関係なこのちだけの記 が、加減のさころで年寄がおめて、 なからて、出来した。これなんぞ およくろの様に情失なことをへるには、要続よくそゝのかせば他でもない。 要続よくそゝのかせば他でもない。 て観屈の極大さ飲味を受すんでしたはのなってもんだ! れば、それこそも

の新山を飛び出して、腹見炭で今の新山を飛び出して、腹見炭でやして かして かけっちっか、 うちの緩 かくれか おかしてからて かいま かっちの と

科兒小

梅趋三世野古帝建大 院醫原相

帝-九二四部電

構監設建

适督計築

梶

原

祭事

大連市但馬町上

電話カニハ七番

與東處第一級主仕技術者

梶原勇雄

(日曜日)



消費大衆の御支持を得て

工業採算の革命を

貫證

せ





替養さな ムガなく 春にさきがけた 御愛用家の肌は 御園クレームの

肌にこけ込んで

ムグなく

校簽寓會發行)便十錢

の第二部



語本給白園湖料湖 圆螺胡東伊

店品製化物間小・店賃賃詳和の液一所を到議会

朝の日課に必ずバレー

英國製パレー自動研安全剃刀

mパレーは實に簡單に研げる。 而も素敵な切味だ

阿そして一枚の刄を毎日使つても半年以上使へる

パレー安全刺刀……價金一個三十五錢より 雲刺用クリーム……仮金 五十五銭

乙一研ぐ。削る……で五分とはかいらぬ

らか肌おのたなあ づ先は春



美しさの春です 若さの春です

白粉下にも 起剃後にも



[65 ルパーセント

新裝して出づ!! 見よ この單純清楚にして 新 力と魅力 品質の純良さが透け 時代の趣好に投ずる包裝體裁! て見える良心的な淡紅色! 清新さよ オレンデヴァミリオンの威髪の 幅と厚みの男性的な 包裝を解いた時の医



家族用『四十錢 物 發 賣 坊間七十錢にて販賣せると同 今や粉齒磨は全然。煉」に移らんとする秋 鱼 PRESCRIBERS

品質は勿論從來と同



